

平成23年度次世代育成支援対策推進行動計画 C評価事業一覧

「*」は平成20年度実績

事業No.	事業名	担当課	事業内容	平成21年度(計画策定時)実績	平成23年度実績	平成26年度目標	平成23年度歳出予算	平成23年度歳出決算	平成23年度実施状況	23年度実施状況において、26年度目標(達成)に対して努力した点・未達成の理由等	H23所管評価	H23評価結果	平成24年度における事業推進の目標
6	一時預かり事業	こども課(保育所担当)	一時保育の要件を拡大し、柔軟な対応により、子育て支援を行う。(特定保育も充足)	未実施	未実施	検討	-	-	特定保育事業としては実施していないが、概ね一時預かり(一時保育)事業の中で対応した。	事業No.5の一時預かり(一時保育)事業の中で対応した。	C	C	可能な限り一時預かり(一時保育)事業の中で対応する。
31	まねっこ	健康課	10か月児健診を受診した親子を対象に交流広場の提供をする。	実施(月1回)	廃止	継続	-	-	子育てセンターのカンガルークラブで統合して実施しているため、健康課では実施せず。	実施なし	C	C	廃止
47	子育て広場	こども課(保育所担当)	在宅の親子が保育所に集まり、子育ての楽しさについて学び合う。	実施(4か所)	廃止	継続	事業No212で一括計上	事業No212で一括計上	「子育て広場」事業から「体験保育」事業に変更して実施	「体験保育」事業の実施	C	C	「体験保育」事業を充実させ、「子育て広場」は廃止
48	園庭開放	こども課(保育所担当)	地域の乳幼児の親子の交流の場、遊び場、子育ての相談の場として、保育所の園庭を開放する。	実施(6か所)	継続	継続	事業No212で一括計上	事業No212で一括計上	公立6保育所で継続実施 開催日:毎週1回、時間:午前10:00~11:30 参加者: H22→873人 H23→785人	地域子育て創生事業を活用し、内容を充実させて実施したが、結果的には利用者の減少が続いている。	C	C	今年度は事業の周知に努め、さらに内容を充実させる。
50	出前保育	こども課(保育所担当)	保育士と保育所児が公園等で地域の子どもと交流する。	実施(2か所)	廃止	継続	事業No212で一括計上	事業No212で一括計上	(実施保育園:精道保育所) 開催状況: H22→3回・1人 H23→実施に至らず。	地域のニーズに合わせておらずH23年度より実施に至らず。	C	C	園庭開放事業を充実させ、「出前保育」は廃止
94	ファミリー・サポート・センター料金の助成	こども課(こども担当)	ファミリー・サポート・センター料金をひとり親家庭をはじめ、低額所得家庭へ助成を行う。	未実施	未実施	実施(23年度)	-	-	平成24年度事業実施に向けて準備を行った。 ●対象者:ひとり親家庭のかたが利用された場合以下のいずれかに該当するもの ・生活保護法による保護を受けているかた ・中国残留邦人等の円滑な帰国の促進及び永住帰国後の自立の支援に関する法律(平成6年法律第30号)に基づく支援の給付を受けているかた ・市民税非課税のかた ●助成額:1回利用料のうち報酬額の2分の1 1月あたり30,000円限度	平成24年度事業実施に向けて準備を行った。	C	C	平成24年度に実施制度の周知を図る。
164	子どもの居場所としての青少年センターの充実	スポーツ・青少年課	児童の活動の場の一つとなるように、青少年センター機能の充実を図る。	実施(ブレイルームの開放)	廃止	継続	-	-	青少年が気軽に集える自由空間として再開したが、施設空間がオープンスペースでなく施設の老朽化・防犯上の問題等の課題があり安心安全面から利用がない状況。	青少年が集える空間としてブレイルームとして体育館・青少年センターに設置されているが、時代変化と若者ニーズの多様化と施設の老朽及び安全面から閉鎖した。また、青少年センター建設から40年が経過し、小規模改修計画を立てる予定である。	C	C	青少年が集える空間(オープンスペース)として小規模改修計画実施までは閉鎖
165	自然学習が身近にできる環境づくり(里山づくり)	スポーツ・青少年課	小学生高学年や中学生が思う存分体力を使うことができるような身近な環境がこれから求められている中で、自然学習や体験ができる環境づくりを推進する。	実施	廃止	継続	-	-	所管課では取組んでいない。	所管課では取組んでいない。	C	C	市民ハイキングコースとして整備される事が望ましいと思われるため、関係課(経済課)が里山整備として所管することが望ましい。 ※平成21年5月に野外活動センター(通称:あしや村)は、解体撤去後に「打出・芦屋財産区」に返還しています。
17	小学生トランポリン教室	児童センター	トランポリンを通し、基礎体力と平衡感覚を養う。	実施*(年30回)	見直し(内容)	継続	360	0	夏休みに対象を高学年まで拡大し、2回実施	継続して実施	C	C	夏休みに定員人数を拡大して実施
179	親子自然教室	児童センター	野外で自然に触れながら、植物や昆虫の採集、観察を行い、親子及び参加者同士の交流を図る。	実施*(年6回)	見直し(内容)	継続	263	0	休止	内容、講師ともに選定が困難であったため未実施	C	C	廃止

○ …今年度新たにC評価となった事業